



出穂は平年並みからやや早い予想！ 穂肥の後は、間断かん水で根の活力を維持！ 斑点米カメムシ類急増！草刈りの徹底を！

◎ 生育概況と技術対策

「雪若丸」の7月10日現在の生育は、平年値に比べ、草丈がやや長く、茎数、葉数は多く、葉色がやや濃いとなっています。

農業総合研究センターの調査では、出穂期は平年並みからやや早い予想となっています。

平坦部「雪若丸」の生育（7月10日現在）

項目	調査値	平年値	平年比・差	
草丈	56.7 cm	54.7 cm	104	やや長い
茎数	742 本/m ²	694 本/m ²	107	多い
葉数	11.3 枚	10.7 枚	0.6	多い
葉色 (SPAD)	44.8	43.7	1.1	やや濃い

※各農業技術普及課の調査結果を平均した値

「雪若丸」予想出穂期（7月10日現在、農業総合研究センター調べ）

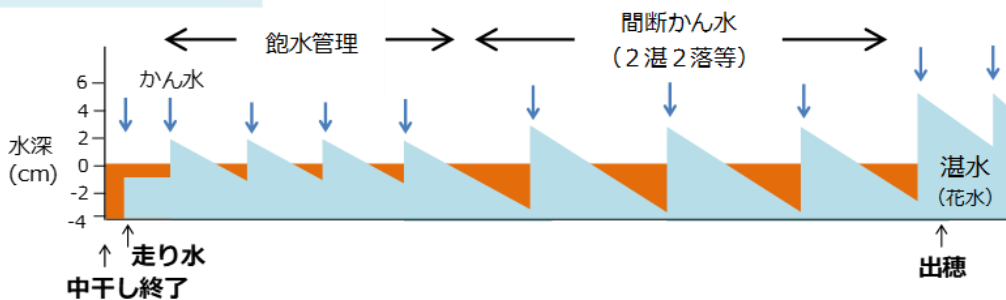
場所	予想出穂期	平年出穂期 [※]	平年差
山形市みのりが丘	8月2日	8月2日	±0日
鶴岡市藤島	7月30日	8月1日	-2日

※過去7か年（H29～R5）の平均値

（1）穂肥後は間断かん水！

穂肥施用後は、飽水管理（土壌表面の足跡に水が残る程度）を行い、その後は間断かん水に移行します。2～3日毎に湛水と落水を繰り返し、根の活力維持に努めましょう。

水管理のイメージ



（2）斑点米カメムシ類対策 ～ 畦畔、法面、農道の除草を徹底！～

斑点米カメムシ類の発生量は平年に比べて多く、7月2日付けで注意報が発表されています。出穂2週間前頃までに地域全体で畦畔や法面、農道の草刈りを進めましょう。

農作業事故と熱中症に十分注意してください！

休憩をこまめにとり、水分補給を行いながら、無理のない作業を！